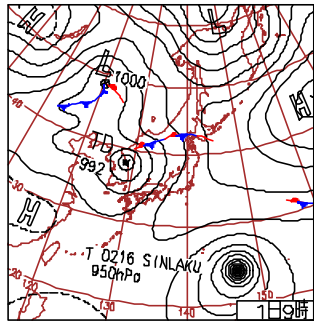


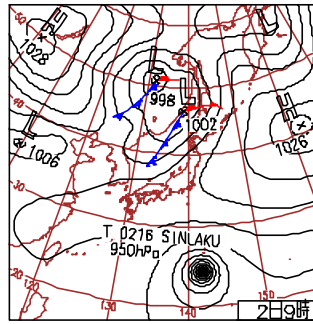
## 2002年9月

- ・4日～5日、台風第16号が南大東島付近、沖縄本島、久米島付近を通過。名護市で最大瞬間風速57.9m/sを観測。
- ・16日～17日、低気圧が日本海沿岸を進み、九州北部や中国地方で大雨。
- ・23日～24日、上空に寒気が入り、大気の状態が不安定。富山県と秋田県で竜巻発生。

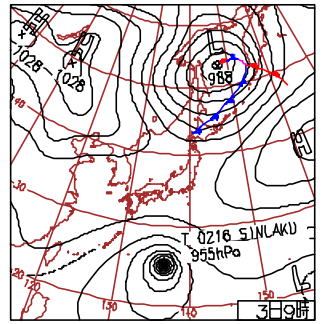
(気象庁予報部予報課)



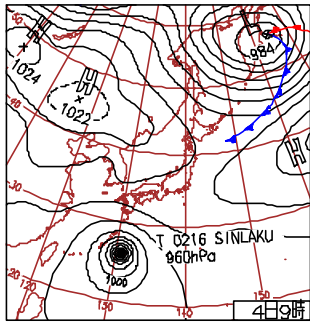
**1日(日)韓国で台風被害**  
台風第15号、韓国では死者100人以上の被害。四国でも大雨洪水警報、日雨量は徳島県神山町で425mm、高知県本川村で407mm。日本海側はフェーン現象で富山の最高気温38.3。



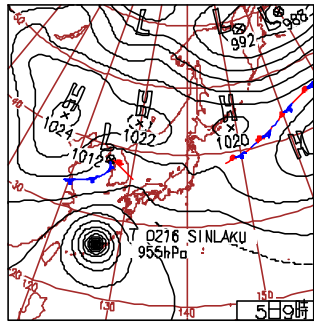
**2日(月)東京で33.9、残暑続く**  
高気圧に覆われ、北海道の一部を除き全国的に晴れ。父島付近を西進中の台風第16号の影響で海上は猛烈なしけ。高知県では1時間に30mm前後の雨が続き、浸水被害発生。



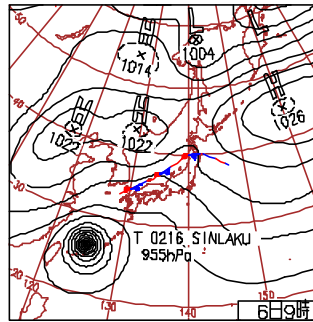
**3日(火)全国的に気温は高め**  
日本の東海上の高気圧が強まり本州以西を覆う。前線が北海道を通過するが、全国的に晴れて気温も平年より高め。台風第16号は強い勢力を維持して大東島地方に接近。



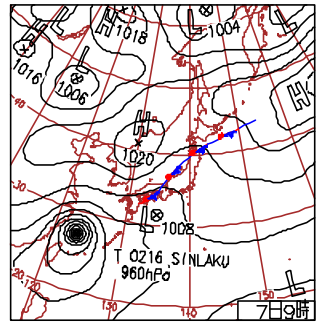
**4日(水)台風南大東島通過**  
強い台風第16号は朝に南大東島を直撃してゆっくり西進。沖縄本島方面へ向かう。南西諸島は風雨激しさを増す。他は晴れて残暑続き、最高気温36を超える地方が多い。



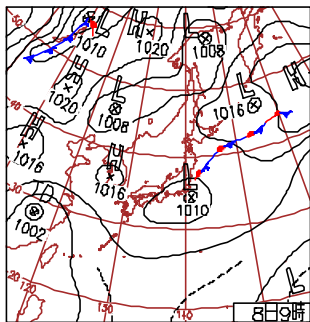
**5日(木)沖縄本島が台風の眼に**  
台風第16号は沖縄本島南部を通過し、朝方からは吹き返しの暴風雨。名護市の最大瞬間風速57.9m/sは歴代1位、24時間降水量407mmの大雨も伴う。本州各地にはわか雨や雷雨。



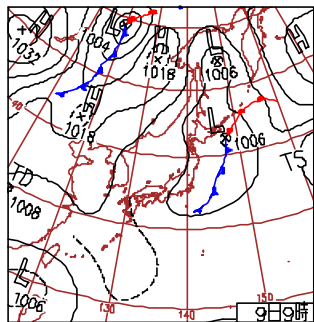
**6日(金)関東でまとまった雨**  
高気圧縁辺の暖湿流により東北南部～近畿にかけて雨。首都圏各地で日雨量100mmを越す大雨で、一部で床上浸水。台風第16号はゆっくり西進。沖縄久米島は夕方まで暴風域の中。



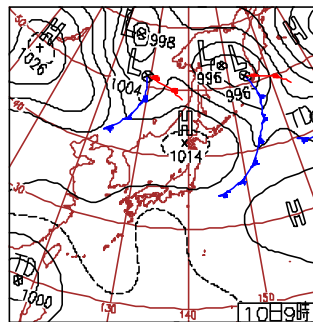
**7日(土)本州付近に前線停滞**  
前線の影響で東北～北陸地方と、暖く湿った空気が入った関東沿岸で雨。その他の地方は曇り。石垣島の北西海上で台風第16号は西進。沖縄本島地方・先島諸島では大しけ続く。



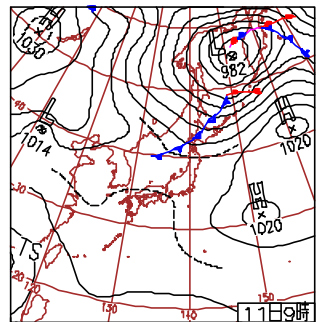
**8日(日)不安定な天気**  
本州の上空に寒気が入り、東北南部から近畿地方にかけ所々にわか雨や雷雨となる。台風第16号は華中へ上陸し、熱帯低気圧に弱まり、南西諸島方面の波浪やと収まる。



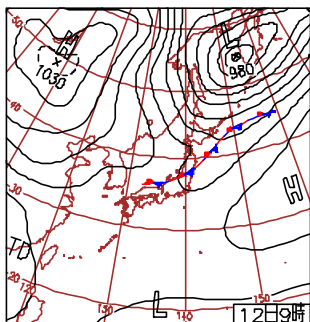
**9日(月)東海・西日本「少雨情報」**  
気圧の谷の動きが遅く、北日本・東日本は曇りや雨の天気。東海以西は晴れて残暑続く。東海と西日本は8月以降少雨傾向が続き、降水量は平年の50%以下。



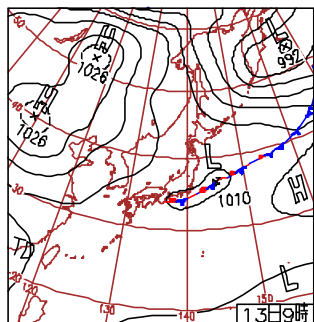
**10日(火)台風第17号熱低化**  
全国的に晴れたが、高気圧が北日本を通り、北東気流で本州太平洋側は雲多く、沿岸部所々に積乱雲が発達。先月末にハリケーンから変わった台風、はるか東海上で熱帯低気圧に。



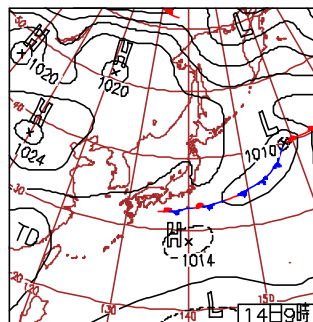
**11日(水)台風第18号発生**  
北海道は前線が通過し、一部で雨。関東以西は太平洋高気圧の勢力下で、内陸の一部を除き晴れて気温上昇。東京都心は1週間ぶりに真夏日となる。南シナ海で台風第18号発生。



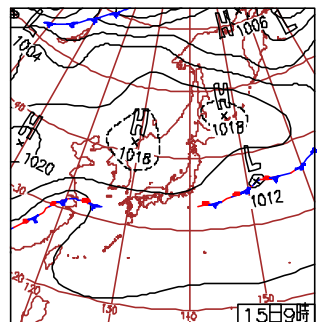
**12日(木)前線ゆっくり南下**  
日本海から東北地方に延びる前線がゆっくり南下し、所々に雨。関東以西は高気圧圏内、晴れて暑さぶり返す。前橋33.5と平年より6.7高目。台風第18号は華南で熱帯低気圧に。



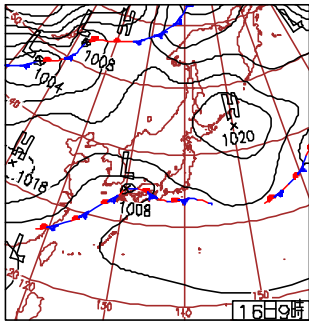
**13日(金)北冷西曇**  
秋雨前線が南北に季節を分断。北陸～東北では曇りや雨で、北日本は低温、仙台の最高気温19.8は10月中旬並み。西日本各地は真夏日で、鹿児島は最高気温33.1。



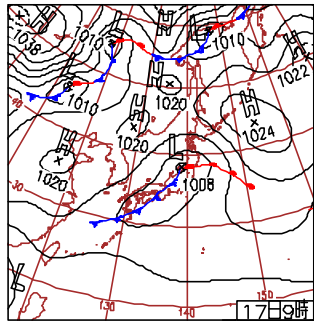
**14日(土)一気に秋めく**  
秋雨前線が南下し、関東は北東の風が吹き最高気温は10月下旬並みの20前後。真夏日は九州と四国の一部だけで、本州は一気に秋めく。北海道サロマ湖で遊漁船転覆事故。



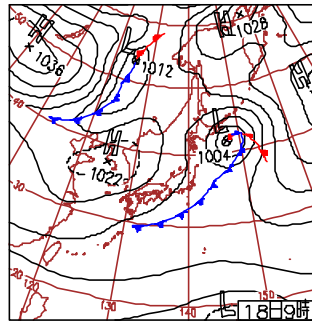
**15日(日)関東は北東気流続く**  
高気圧が北日本から勢力を強め、秋雨前線北側に雲域が広がる。本州は全般に曇り、関東沿岸部は雨。横浜市大岡川でも“時のアザラシ”「タマちゃん」が曇り空の朝をむかえた。



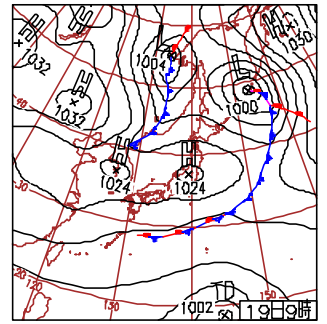
**16日(月)九州・中国地方で大雨**  
低気圧が対馬海峡を通過し、前線活動も活発。九州・中国地方は大雨、長崎県松浦市で12時までの1時間に73mmの非常に激しい雨。佐賀県他でげ崩れや床上・床下浸水発生。



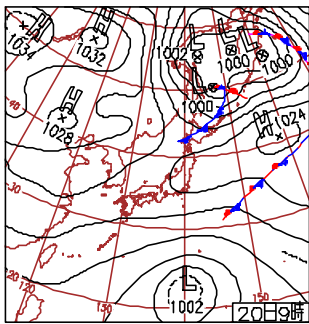
**17日(火)小泉首相訪朝**  
日本海を北東進する低気圧に向かって暖かく湿った空気が入り、西日本の各地で短時間強雨。四国・九州南部・沖縄を除き気温低目。首相平壤へ出発、朝の羽田空港は「もや」。



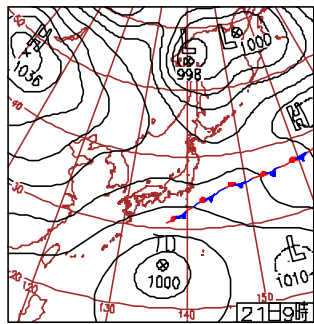
**18日(水)東・西日本で秋晴れ**  
移動性高気圧に覆われ東・西日本は湿度も低く秋晴れの天気。北日本は、上空に寒気が入り不安定な天気。群馬・長野県境の浅間山で火山性地震へ出発、朝の羽田空港は「もや」。



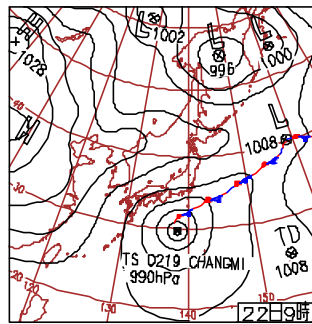
**19日(木)日本列島「秋日和」**  
本州上に移動性高気圧が進んで、全国的に秋晴れ。紀伊半島南部だけは東風で曇りや雨。朝の最低気温は9月下旬～10月上旬並に低くなったが、日中の最高気温は平年並み。



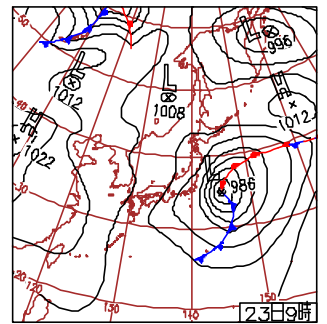
**20日(金)少雨情報第6号**  
北海道は寒冷前線が通過し、朝の内一時雨。九州東岸は湿った東風の影響で雨、他は全国的に晴れた。名古屋は8月以降の降水量が平年の36%と少雨が続く。



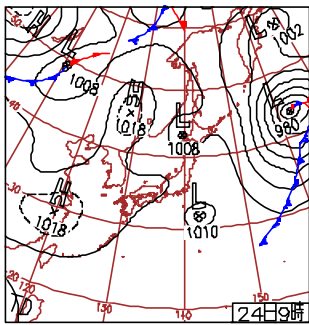
**21日(土)雲間に「中秋の名月」**  
大陸の高気圧が日本付近に張り出したが、日本の南海上では前線が次第に明瞭に。日中は北日本と近畿以西で晴れたが、夜には全国的に雲が多くなり、丸いお月さまは雲間から。



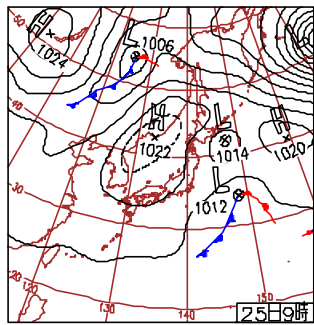
**22日(日)南海上で台風第19号**  
日本の南海上で発生した台風が北東進。台風の前側には停滞前線が延びて、関東甲信地方は雨。一方、これらから遠い北海道・九州は晴れ。北日本・東日本は寒気入り、気温低目。



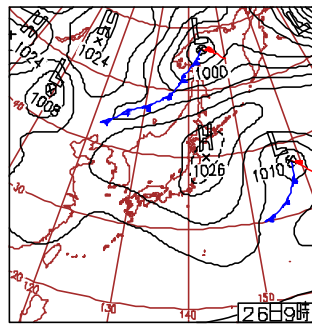
**23日(月)富士山初雪**  
秋分の日、関東・東北地方はあいにくの曇雨天、他は秋晴れ。上空3000m付近には0 前後の寒気が入り、富士山測候所で初雪観測。平年より9日遅く、昨年より19日も遅い。



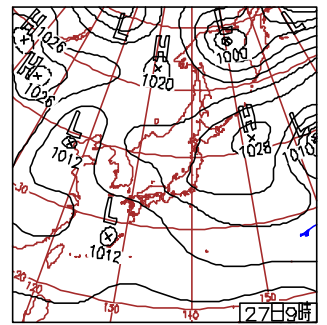
**24日(火)軽井沢早くも初霜**  
北日本以外は秋晴れ。上空の寒気は今秋一番で、北海道の旭岳・羊蹄山は初霜。長野県軽井沢は最低気温が2.3 まで下がり、全国で最も早く初霜を観測。平年より22日も早い。



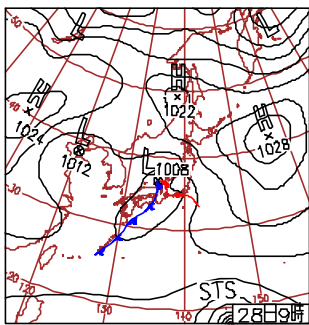
**25日(水)雨を“シーラス”**  
日本付近は高気圧に覆われて乾いた空気が入り、晴れの所が多い。しかし関東などでは、気圧の谷の接近を告げる巻雲(シーラス)が青空に広がった。南シナ海で台風第20号発生。



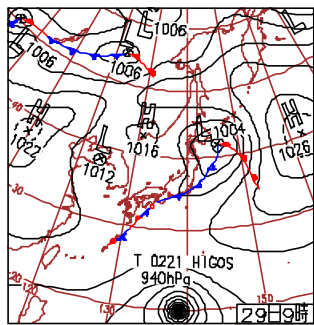
**26日(木)西から天気下り坂**  
高気圧に覆われた北日本は晴れたが、他は曇りや雨。湿った東風が吹きつけた紀伊半島南部は大雨、和歌山県新宮市で1時間に30mmを越す激しい雨。キンモクセイの香り漂う。



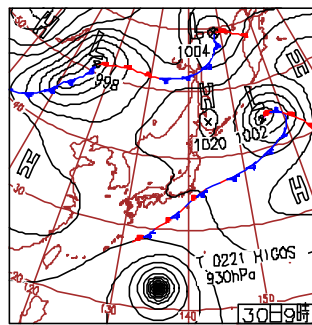
**27日(金)富士山初冠雪**  
高気圧が北に偏る気圧配置続く。九州の南海上へ低気圧が進み、関東以西は全般に雨、その他は曇り。富士山の雪化粧、河口湖・甲府で観測。マリアナ諸島で台風第21号が発生。



**28日(土)各地で大雨**  
低気圧が日本海へ進んで発達、前線活動も活発で全国的に大雨。北海道・東京・千葉・三重県で日雨量100mm以上。三重県大宮町で4時までの3時間に158mmの非常に激しい雨。



**29日(日)全国的に曇り**  
日本付近は気圧の谷の中で、前線は関東から南西諸島に停滞したが、活動は小康状態。所々で雨のほかは全国的に曇り、沖縄は晴れ。台風第21号は沖の鳥島近海を西進し、発達中。



**30日(月)台風第21号北上**  
台風第21号は非常に強い勢力に発達し、中心気圧は930hPa。進路を北に変え、東日本～北日本が予報円に入る。秋雨前線の活動も活発となり、三宅島で83mmの日降水量を記録。